

外国語学部
グローバル・リベラルアーツ学部

2026年度

入学者選抜要項

総合型選抜(10月選考)

Kanda
University of
International
Studies

出願から入学までの流れ

入学者選抜要項入手 必要書類の準備	入学者選抜要項を、よくお読みください。 調査書や写真、志望理由書、英語資格の証明書等、出願に必要な書類を揃えてください。	6月中旬～
↓		
入学検定料の支払	金融機関窓口にてお支払いください。	8/18(月)～ 9/11(木)
↓		
必要書類の送付	必要書類を簡易書留・速達郵便で送付してください。	9/4(木)～ 9/11(木) ※締切日消印有効
↓		
プレゼンテーション資料の提出	大学の指定する方法でプレゼンテーション資料を提出してください。 *英米語学科、アジア言語学科、イベロアメリカ言語学科、グローバル・リベラルアーツ学科	9/18(木)～ 9/25(木)
英語動画の提出	大学の指定する方法で英語動画を提出してください。 *国際コミュニケーション学科	
↓		
受験票の送付	受験票および受験に必要な情報を送付します。	9/24(水) 発送
↓		
受験	学部・学科・専攻によって集合日時が異なります。 集合日時は受験票で確認してください。	10/4(土)～ 10/5(日)
↓		
可否結果発表	可否結果通知を本人宛に速達郵便で送付します。	11/1(土) 発送
↓		
入学手続	① 金融機関の窓口から初年度学費等を納入してください。 ② 入学手続期間内に入学手続書類を提出してください。	11/3(月)～ 11/10(月)
↓		
入学許可書	入学手続完了者には、「入学許可書」を本人宛に送付します。	12月下旬
↓		
入学前教育(必須受講) 入学前交流会	入学前教育のコンテンツにはそれぞれ受講・提出期日があります。 必ず期日までに取り組みを完了してください。	1月～3月
↓		
新入生英語テスト等	英語テスト等を実施します。 *日程は12月下旬にお知らせします。	3月下旬～ 4月上旬
↓		
入学式	神田外語大学または大学近隣の施設で実施する予定です。	4月上旬

CONTENTS

建学の理念	1
アドミッション・ポリシー	1
生成系 AI 等の利用について	3
1 目的	4
2 募集学部・学科・専攻・人員	4
3 選考日程および選考方法・実施形式・受験場所	5
4 出願基準・条件	6
5 学科・専攻別 選考方法等詳細	7
外国語学部 英米語学科	7
アジア言語学科 中国語専攻	9
韓国語専攻	11
インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻	13
イベロアメリカ言語学科 スペイン語専攻	15
ブラジル・ポルトガル語専攻	17
国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻、国際ビジネスキャリア専攻	19
グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科	21
6 出願書類	23
7 入学検定料	27
8 出願方法	27
9 出願上の注意	27
10 受験票の送付	28
11 受験上の注意	28
12 可否結果通知の送付	29
13 入学手続	29
14 入学前教育(必須受講)	31
15 入学検定料の返還について	31
16 ノートパソコンの必携について	31
17 入学試験 Q&A	32
18 参考文献リストの書き方 [外国語学部]	33
個人情報の取扱いについて	34

建学の理念

言葉は世界をつなぐ平和の礎

Languages are the foundation to link the world in peace.

アドミッション・ポリシー

外国語学部

神田外語大学の理念は、「言葉は世界をつなぐ平和の礎」である。これを受け、外国語学部の教育は、高度な言語運用能力を身につけ、専攻言語と同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授する。それにより、国際社会に貢献しうる豊かな教養とコミュニケーション能力を身につけた自立した人材を養成することを目的とする。本学部では、次に掲げる能力や資質を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

- 【知識・技能】
- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
 - ・本学部での学修に必要な一定程度の英語能力
 - ・本学部での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
 - ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】 国際社会の諸問題に関心をもち、自らの問題として考え学修し、表現する力

【コミュニケーション能力】 対話を通じ、異なる価値観や背景をもつ人と相互に理解しあう力

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 参加型かつ実践的な授業を通して主体的に学び、高度な言語運用能力を修得する強い意志をもつ人
- (2) 多様な価値観や背景をもつ人と、自ら積極的にコミュニケーションを図り、協力しあって、様々な課題の解決に取り組める人
- (3) 国際社会の一員として活躍する意欲をもち、諸外国の歴史や文化や、社会を深く理解しようとする人

3. 評価の方法

本学部では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査等によって受験者の能力や姿勢を評価する。

英米語学科

英米語学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

- 【知識・技能】
- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
 - ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
 - ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
 - ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- ・英語圏の言語・歴史・文化・社会に関心をもち、問題意識をもって主体的に情報を集め、情報を分析、評価する力
- ・資料や文献を批判的に読み解き、筋道を立てて粘り強く考える力

【コミュニケーション能力】 授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって、問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 様々な分野に貢献できる高度な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、自主的に学修できる人
- (2) 日英語を駆使して情報を収集し関心のある分野の理解を深めることのできる人。また、様々な問題を多角的に考察し、自分の意見を論理的に表現することのできる人
- (3) 英語圏の言語・歴史・文化・社会に関する深い教養に基づき、様々な場面において、国際社会の一員として多様性と調和を尊重する社会の実現に主体的に関わろうとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

アジア言語学科

アジア言語学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- ・専攻言語圏の諸問題に関心をもち、それらについて自ら考え学修し表現する力
- ・日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 国内外の様々な分野に貢献できる高度な専攻言語の運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
- (2) 実践的な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
- (3) 専攻言語及び同言語圏の言語・歴史・文化・政治・経済・社会に関する幅広い教養に基づき、人々の多様性を尊重し、多文化共生の観点から国際社会の発展に主体的に関わろうとする人
- (4) 興味関心のある分野において、専攻言語や英語、日本語を駆使して複眼的な理解、情報収集、客観的分析、論理的表現をおこない問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

イペロアメリカ言語学科

イペロアメリカ言語学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- ・専攻言語圏の諸問題に関心をもち、それらについて自ら考え学修し表現する力
- ・日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 国内外の様々な分野に貢献できる高度な専攻言語の運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
- (2) 実践的な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
- (3) 専攻言語及び同言語圏の言語・歴史・文化・社会に関する深い教養に基づき、国際社会の一員として多様性と調和を尊重する社会の実現に主体的に関わろうとする人
- (4) 興味関心のある分野において、専攻言語や英語、日本語を駆使して複眼的な理解、情報収集、客観的分析、論理的表現をおこない問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- ・国際社会の諸問題に関心をもち、それらについて自ら考え学修し表現する力
- ・日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 高度な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、積極的に協働学習に取り組もうとする人
- (2) コミュニケーションや国際関係、国際ビジネスに関する深い教養に基づき、文化的背景の異なる人々と意思疎通を図り、国際社会の発展に主体的に関わろうとする人
- (3) 興味関心のある分野において、国際コミュニケーションの観点から分析し、考察を論理的に発信することで、問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

グローバル・リベラルアーツ学部

神田外語大学の理念は、「言葉は世界をつなぐ平和の礎」である。これを受け、グローバル・リベラルアーツ学部の教育は、「高度な英語運用能力と多文化共生力を備え、わが国と世界の困難な課題に立ち向かい、平和と繁栄の招来に主体的に貢献し得る人材を育成」することを目的としている。本学部では、次に掲げる能力や態度を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学部での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学部での学修に必要な日本語の読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

国際社会の諸問題に関心を持ち、自主的に学修し考え表現する力

【コミュニケーション能力】

他者と積極的にコミュニケーションを図り、協働する姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 幅広い教養を身につける意欲を持ち、生涯にわたって自立学習者であろうとする人
- (2) グローバルな視点から現代社会の課題に取り組み、平和に貢献する意欲を持つ人
- (3) 留学を通じて自己を成長させようとする強い意志をもつ人

3. 評価の方法

本学部では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

[グローバル・リベラルアーツ(GLA)学部 出願にあたっての留意点]

グローバル・リベラルアーツ学部では、1年次前期の海外スタディ・ツアー(リトアニア、インド、マレーシア・ボルネオ、エルサレムの4地域のうち1地域に留学)、3年次の後期に実施するニューヨーク州立大学(SUNY)への留学を必須としています。

これらの留学が可能なることを前提としたカリキュラムであることにご留意ください。

※社会情勢の変動等の理由により、渡航先を変更する場合があります。

生成系AI 等の利用について

本学の各入学者選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、エッセイ、時事問題、学力試験、書類審査等によって受験者の能力や姿勢を評価します。

試験の準備や対策、課題作成等にあたり、生成系AI等の活用は制限しませんが、そこから提供されたものをそのまま使用することは認めません。自らその内容の根拠や信憑性を確認したうえで表現する必要があります。

このことをふまえて試験準備に努めてください。

1 目的

〔外国語学部〕

総合型選抜(10月選考)(以下本選抜とします)では、基本的な知識・技能・コミュニケーション能力だけではなく、これからの時代に求められる「思考力・判断力・表現力」「課題に向き合う主体性」をプレゼンテーション、質疑応答や面接を通して多面的に評価します。

また、本選抜の入学予定者には、入学前教育をオンデマンドにて必ず受講していただきます。入学までの時間を大切に、進んで課題に取り組む人物を求めています。

〔グローバル・リベラルアーツ学部〕

本選抜では、グローバル・リベラルアーツ学部のアドミッション・ポリシーに示す能力・姿勢のうち、次の項目に主眼を置いた選考をおこないます。

1. 入学前に修得が期待される能力

〔知識・技能〕 本学部での学修に必要な日本語の読解力と論理的表現力

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 幅広い教養を身につける意欲をもち、生涯にわたって自立学習者であろうとする人
- (2) グローバルな視点から現代社会の課題に取り組み、平和に貢献する意欲をもつ人
- (3) 留学を通じて自己を成長させようとする強い意志をもつ人

出願に際しては、カリキュラムや留学制度について十分に確認し、本学部の特性を理解したうえで、選考に臨んでください。

また、本選抜の入学予定者には、入学前教育をオンデマンドにて必ず受講していただきます。入学までの時間を大切に、進んで課題に取り組む人物を求めています。

2 募集学部・学科・専攻・人員

学 部 ・ 学 科		専 攻	入学定員 (全募集定員)	総合型選抜 (10月選考) 募集人員
外国語学部	英米語学科	－	340名	39名
	アジア言語学科	中国語専攻	56名	11名
		韓国語専攻	56名	11名
		インドネシア語専攻	28名	5名
		ベトナム語専攻	28名	5名
		タイ語専攻	28名	5名
	イペロアメリカ言語学科	スペイン語専攻	84名	15名
		ブラジル・ポルトガル語専攻	44名	7名
	国際コミュニケーション学科	国際コミュニケーション専攻	167名	16名
		国際ビジネスキャリア専攻	30名	4名
グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科		－	60名	12名
合 計			921名	130名

※出願状況および試験結果等により、合格者数が募集人員を下回る場合があります。

3 選考日程および選考方法・実施形式・受験場所

選考日程

出願期間	2025年9月4日(木)～9月11日(木) ※締切日消印有効
プレゼンテーション資料提出期間 ※英米語学科、アジア言語学科、イペロアメリカ言語学科、 グローバル・リベラルアーツ学科	2025年9月18日(木)～9月25日(木)
英語動画提出期間 ※国際コミュニケーション学科	
受験票発送日	2025年9月24日(水)
試験日	2025年10月4日(土)～10月5日(日)
合否結果通知発送日	2025年11月1日(土)
入学手続期間	2025年11月3日(月)～11月10日(月)

不測の事態により上記の日程で試験を実施できない場合の予備日:10月11日(土)、10月12日(日)
予備日の実施となる場合は、本学Webサイト等を通じてお知らせします。

試験日・選考方法・実施形式・受験場所

各学科・専攻の選考方法等の詳細は、7ページからの「5 学科・専攻別 選考方法等詳細」を確認してください。

学 部 ・ 学 科		専 攻	試験日	選考方法	実施形式	受験場所
外国語学部	英米語学科	—	2025年 10月4日(土) および 10月5日(日)	1.書類審査 2.英語テスト 3.英語プレゼンテーション (英語による質疑応答含む) 4.日本語面接	対面 形式	神田外語 大学
	アジア言語学科	中国語専攻		1.書類審査 2.英語テスト 3.日本語プレゼンテーション (質疑応答・面接を含む)		
		韓国語専攻				
		インドネシア語専攻				
		ベトナム語専攻				
		タイ語専攻				
	イペロアメリカ言語学科	スペイン語専攻		1.書類審査 2.英語テスト 3.日本語プレゼンテーション (質疑応答・面接を含む)		
		ブラジル・ポルトガル語専攻				
	国際コミュニケーション 学科	国際コミュニケーション専攻	2025年 10月4日(土) または 10月5日(日)	1.書類審査 2.英語動画審査 ・英語動画を事前に提出 3.日本語による質疑応答・面接		
		国際ビジネスキャリア専攻				
グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科	—	1.書類審査 2.日本語プレゼンテーション 3.質疑応答・面接				

※英米語学科では、条件により上記選考方法の他に日本語試験が課されることがあります。7ページを確認してください。

4 出願基準・条件

以下の学部・学科で定められた出願基準・条件のすべてを満たす必要があります。

[外国語学部・グローバル・リベラルアーツ学部 共通]

(1) ①～③の大学入学資格のいずれかに該当する者

ただし、大学入学時の年齢が満18歳未満となる場合は、出願前に本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および2026年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者、および2026年3月31日までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2026年3月31日までに以下のA～Fのいずれかに該当する見込みの者
 - A 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2026年3月31日までに修了見込みの者、あるいはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
 - B 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - C 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - D 文部科学大臣の指定した者
 - E 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格したものを含む)、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年4月1日時点で満18歳以上の者
 - F 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年4月1日時点で満18歳以上の者

(2) 本選抜で合格した場合には、必ず入学すること

※本選抜内での学内併願はできません

(3) 合格した場合、「入学前教育」をオンデマンドにて受講し、必ず期日までにすべてのコンテンツへの取り組みを完了すること

期日までに完了しない場合、入学が取り消される可能性があります

(4) 本学を第一志望とし、志望する学科および専攻の学習に強い意欲と明確な目標をもっている者

(5) 入学後は他の学生の良き手本となる自覚と意欲のある者

[国際コミュニケーション学科およびグローバル・リベラルアーツ学科における英語資格基準]

(6) 以下のいずれかの英語資格基準を満たしていること

なお、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定以外の資格取得日は出願締切日から遡って原則2年以内のものを有効とします。

ケンブリッジ英語検定 B1 レベル以上

実用英語技能検定※ 2 級合格以上

GTEC(4技能)(CBT 可) トータルスコア1,050点以上

IELTS™(Academic Module) Overall Band Score 4.0 以上

TEAP(4技能) 合計240点以上

TEAP CBT 合計450点以上

TOEFL iBT® Total Score 50 点以上

※実用英語技能検定は、従来型、CBT、S-CBT、S-Interview いずれも可とします。英検CSEスコアの基準はありません。

5 学科・専攻別 選考方法等詳細

〔外国語学部〕 英米語学科

選考方法

1. 書類審査
2. 英語テスト(約45分) *マークシート方式
 - ・英文法(15分)
 - ・英語リスニング(約30分)
3. 英語プレゼンテーション(約15分)
 - ・英語プレゼンテーション(4分以内)
 - ・英語による質疑応答(約8分)
4. 日本語面接(約5分)

注)外国において学校教育における12年の課程のうち通算3年以上の教育を受けた者は、上記選考方法のほか
に日本語試験(動画(約5分)を視聴し、その内容理解を問う出題(30分:記述式))が課されます。
試験日は10月4日(土)です。

*英語プレゼンテーションは、試験官からテーマの指示を受けてからスライド資料のセッティングをして、プレゼン
テーションを開始してください。

*英語プレゼンテーションは定められた時間内(4分以内)に終わってください。

係員が残り時間(1分 30秒 終了)を提示します。

*英語プレゼンテーションの実施時間にプレゼンテーション開始までの準備時間は含めません。

*英語プレゼンテーションおよび日本語面接は、公正な審査を目的として録画・録音をおこなうことがあります。
記録した動画・音声は、可否判定後に消去します。

プレゼンテーション テーマ

以下の2つのテーマについて、英語によるプレゼンテーションを用意してください。

試験当日はどちらか1つのテーマのプレゼンテーションをおこないますが、どちらをおこなう
かは、試験当日に試験室で指示します。

従って、テーマを自分で選択することはできません。どちらのテーマにおいても自分の視点
を明確にしたプレゼンテーションを準備してください。プレゼンテーションの内容、構成、話
しぶり、また英語力やプレゼンテーションの理解のしやすさ、説得力などを評価します。

① The Role of Robots in the Future: Benefits and Concerns

② Pros and Cons of Making University Tuition Fees Free

プレゼンテーション 時間

各テーマ4分以内

評価のポイント

プレゼン テー ション	内容 Content	興味をひく内容で、主張はデータや事前学習に基づいており、具 体的・独創的であるか。
	構成 Organization	全体が[序論]―[本論]―[結論]で構成され、主張が導入から結論 に至るまで、論理的に一貫しているか。テーマおよび論旨が明確で あり、理路整然としているか。
	話しぶり Delivery	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む 力があるか。聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい 内容をわかりやすく伝えているか。
質 疑 応 答	英語力 English ability	発音が明瞭で聞きやすいか。文法がしっかりしており、語彙が豊富 で、表現力があるか。
	流暢さ、理解しやすさ Fluency, Intelligibility	流暢に発表内容を伝えることができるか。わかりやすい英語で、聴き 手が理解しやすいように説明できているか。
	説得力 Persuasiveness	質問に対し、持論を論理的に展開し、相手を説得する力があるか。

プレゼンテーション
資料の形態

プレゼンテーションで 使用する資料の形態	使用可能環境等
PowerPoint等の プレゼンテーション ソフトで作成した資料	・「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。 ※プレゼンテーションには本学の機器を使用します。 ※「.ppt」ファイルと「.pptx」ファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2021を使用します。 ・スライドの枚数に指定はありません。 ・スライドは、図や表を含めて全て英語で書いてください。日本語で書かれた図や表については、英語を併記してください。 ※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。 ・試験当日は、ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 ※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックがあります。 ※USBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。

*プレゼンテーションのタイトルは、出題されているテーマと同一にして、独自のタイトルをつけないでください。

*プレゼンテーションの形態は、プレゼンテーションソフトを使用したスライドで作成してください。

*対面でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。

プレゼンテーション
資料の提出方法

2つのテーマについて、以下の要領で、指定期間内にプレゼンテーション資料を提出してください。

提出 資料	プレゼンテーションソフトで作成した資料 ・ プレゼンテーションで使用する資料をPDF形式(.pdf)にして送信してください。 ・ ファイル名:[Theme1_氏名] [Theme2_氏名]
提出 期間	2025年9月18日(木)～9月25日(木) ※上記期間以外は受理できません。 ※提出されたプレゼンテーション資料は、印刷して試験当日の試験官用資料として使用します。
提出 方法	本学Webサイト内に開設する専用フォームから提出するファイルを送信してください。 詳細は26ページをご覧ください。

5 学科・専攻別 選考方法等詳細

[外国語学部] アジア言語学科 中国語専攻

選考方法

- 書類審査
 - 英語テスト(約45分) *マークシート方式
 - ・英文法(15分)
 - ・英語リスニング(約30分)
 - 日本語プレゼンテーション(約25分)
 - ・日本語プレゼンテーション(10分以内)
 - ・日本語による質疑応答・面接(約15分)
- *プレゼンテーションは定められた時間内に終わってください。
係員が残り時間(3分 1分 終了)を提示します。
*日本語プレゼンテーションの実施時間にプレゼンテーション開始までの準備時間は含めません。
*日本語プレゼンテーション(質疑応答・面接を含む)は、公正な審査を目的として録画・録音をおこなうことがあります。記録した動画・音声は、可否判定後に消去します。

プレゼンテーション テーマ

中国あるいは中国と日本の関わりにおいて、下記に示した①～⑨の項目のうちあなたが最も注目する項目、もしくは興味・関心を持っている項目はどれですか。

- ① 経済 ② 文化 ③ 政治・外交 ④ 社会問題 ⑤ 歴史
⑥ 相互イメージ ⑦ 異文化摩擦 ⑧ 国際社会におけるプレゼンス
⑨ その他

一つを選び、その選択理由を述べ、選んだ項目においてあなたが注目している事柄、もしくは興味・関心のある事柄について具体的に説明してください。そのことは中国語専攻であなたが学びたいことと、どのようなつながりがありますか、また学んだことをどのように将来生かしたいと考えていますか。あなたの考え、ビジョンを交えてプレゼンテーションしてください。

プレゼンテーション 時間

10分以内

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えて いるか
説得力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか

プレゼンテーション
資料の形態

AかBを選択し、資料のデータは指定期間内に提出し試験当日は持参してください。

プレゼンテーションで 使用する資料の形態	使用可能環境等
A PowerPoint等の プレゼンテーション ソフトで作成した 資料	・「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。 ※プレゼンテーションには本学の機器を使用します。 ※「.ppt」ファイルと「.pptx」ファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2021を使用します。 ・スライドの枚数に指定はありません。 ※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。 ・試験当日は、ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 ※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックがあります。 ※USBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。
B スケッチブックや フリップ等を用いた 資料	・枚数やサイズに指定はありません。 ※受験者本人が持ち運び、取り扱い可能なものに限りします。

*対面でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。

プレゼンテーション
資料の提出方法

以下の要領で、指定期間内にプレゼンテーション資料を提出してください。

提出 資料	*AかBいずれかを提出 A プレゼンテーションソフトで作成した資料 ・PDF形式(.pdf)にして提出してください。 ・ファイル名:[中国語専攻__氏名] B スケッチブックやフリップ等を用いた資料 ・写真に撮ってデータを提出してください。 ・ファイル名:[中国語専攻__氏名] ※写真データが複数になる場合は、1つのファイルにまとめて提出してください。 例) Word に1ページ1枚の要領で写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存する。
提出 期間	2025年9月18日(木)～9月25日(木) ※上記期間以外は受理できません。 ※提出されたプレゼンテーション資料は、印刷して試験当日の試験官用資料として使用します。
提出 方法	本学Webサイト内に開設する専用フォームから提出するファイルを送信してください。 詳細は26ページをご覧ください。

5 学科・専攻別 選考方法等詳細

[外国語学部] アジア言語学科 韓国語専攻

選考方法

- 書類審査
 - 英語テスト(約45分) *マークシート方式
 - ・英文法(15分)
 - ・英語リスニング(約30分)
 - 日本語プレゼンテーション(約25分)
 - ・日本語プレゼンテーション(10分以内)
 - ・日本語による質疑応答・面接(約15分)
- *プレゼンテーションは定められた時間内に終わってください。
係員が残り時間(3分 1分 終了)を提示します。
*日本語プレゼンテーションの実施時間にプレゼンテーション開始までの準備時間は含めません。
*日本語プレゼンテーション(質疑応答・面接を含む)は、公正な審査を目的として録画・録音をおこなうことがあります。記録した動画・音声は、可否判定後に消去します。

プレゼンテーション テーマ

以下の2つのテーマから1つを選び、プレゼンテーションをしてください。

- ① あなたが関心を持っている韓国に関する事柄を一つ選び、日本の状況と比較しながら論じてください。
論じる際には、そのテーマに関心を持つようになった背景を述べた後、客観的なデータや具体的な事例を用いて、両国の特徴や違いを論理的に説明してください。
- ② 韓国では「in Seoul」と呼ばれるソウルにある大学に学生が集中し、地方の大学では定員割れが深刻化しています。この問題について考察し、改善する方法を論じてください。

プレゼンテーション 時間

10分以内

評価のポイント

内容	こちらからの問いかけに即した内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的に受験者自身の見解を踏まえたものであるか。
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか。 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか。
表現力	伝えたい内容をわかりやすく伝えているか。
説得力	意欲や熱意があり、相手を納得させる力をもっているか。
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか。
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか。 発表した内容を十分に把握し、その根拠についてもきちんと答えられるか。

プレゼンテーション
資料の形態

AかBを選択し、資料のデータは指定期間内に提出し試験当日は持参してください。

プレゼンテーションで 使用する資料の形態	使用可能環境等
A PowerPoint等の プレゼンテーション ソフトで作成した 資料	・「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。 ※プレゼンテーションには本学の機器を使用します。 ※「.ppt」ファイルと「.pptx」ファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2021を使用します。 ・スライドの枚数に指定はありません。 ※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。 ・試験当日は、ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 ※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックがあります。 ※USBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。
B スケッチブックや フリップ等を用いた 資料	・枚数やサイズに指定はありません。 ※受験者本人が持ち運び、取り扱い可能なものに限りします。

*対面でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。

プレゼンテーション
資料の提出方法

以下の要領で、指定期間内にプレゼンテーション資料を提出してください。

提出 資料	*AかBいずれかを提出 A プレゼンテーションソフトで作成した資料 ・PDF形式(.pdf)にして提出してください。 ・ファイル名: [韓国語専攻__氏名] B スケッチブックやフリップ等を用いた資料 ・写真に撮ってデータを提出してください。 ・ファイル名: [韓国語専攻__氏名] ※写真データが複数になる場合は、1つのファイルにまとめて提出してください。 例) Word に1ページ1枚の要領で写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存する。
提出 期間	2025年9月18日(木)～9月25日(木) ※上記期間以外は受理できません。 ※提出されたプレゼンテーション資料は、印刷して試験当日の試験官用資料として使用します。
提出 方法	本学Webサイト内に開設する専用フォームから提出するファイルを送信してください。 詳細は26ページをご覧ください。

5 学科・専攻別 選考方法等詳細

[外国語学部] アジア言語学科 インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻

選考方法

- 書類審査
 - 英語テスト(約45分) *マークシート方式
 - ・英文法(15分)
 - ・英語リスニング(約30分)
 - 日本語プレゼンテーション(約25分)
 - ・日本語プレゼンテーション(10分以内)
 - ・日本語による質疑応答・面接(約15分)
- *プレゼンテーションは定められた時間内に終わってください。
係員が残り時間(3分 1分 終了)を提示します。
*日本語プレゼンテーションの実施時間にプレゼンテーション開始までの準備時間は含めません。
*日本語プレゼンテーション(質疑応答・面接を含む)は、公正な審査を目的として録画・録音をおこなうことがあります。記録した動画・音声は、可否判定後に消去します。

プレゼンテーション テーマ

次の2つのテーマの中から1つを選び、それについて論じなさい。

- ① 日本では少子高齢化が進み、外国人労働者や移民、その家族の数が増加しています。外国人住民が地域コミュニティにとって不可欠な存在となっているケースもあります。
このような状況において、異文化コミュニケーションに関するどのような課題があると考えますか？そして、その課題を解決するために、あなたは神田外語大学でどのようなスキルや知識を学び、将来どのようにそれを活かして社会に貢献していきたいと考えますか？
- ② もしあなたが、志望する専攻語が話されている国や地域(インドネシア、ベトナム、タイのいずれか)で、ビジネスやボランティア活動を立ち上げるとしたら、どのようなことをしますか。専攻語地域の特徴を活かしたユニークなプランを考えてみてください。
たとえば、日本ですで行われているビジネスやボランティア活動からヒントを得て応用してもよいですし、専攻語地域のもつ独自の文化や人的資源を含めた広い意味での資源を、日本やその他の国・地域に役立てるためのプランでもかまいません。ビジネスの知識やボランティア活動の経験よりも、専攻語地域の社会がもつ特徴や将来に向けた発展可能性をよく理解し、説得的に語れるかどうかの方が大切です。

プレゼンテーション 時間

10分以内

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか
説得力・ アピール力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか

5 学科・専攻別 選考方法等詳細

【外国語学部】 アジア言語学科 インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻

プレゼンテーション 資料の形態

AかBを選択し、資料のデータは指定期間内に提出し試験当日は持参してください。

プレゼンテーションで 使用する資料の形態	使用可能環境等
A PowerPoint等の プレゼンテーション ソフトで作成した 資料	・「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。 ※プレゼンテーションには本学の機器を使用します。 ※「.ppt」ファイルと「.pptx」ファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2021を使用します。 ・スライドの枚数に指定はありません。 ※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。 ・試験当日は、ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 ※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックがあります。 ※USBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。
B スケッチブックや フリップ等を用いた 資料	・枚数やサイズに指定はありません。 ※受験者本人が持ち運び、取り扱い可能なものに限りします。

*対面でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。

プレゼンテーション 資料の提出方法

以下の要領で、指定期間内にプレゼンテーション資料を提出してください。

提出 資料	*AかBいずれかを提出 A プレゼンテーションソフトで作成した資料 ・PDF形式(.pdf)にして提出してください。 ・ファイル名: [〇〇語専攻_氏名] B スケッチブックやフリップ等を用いた資料 ・写真に撮ってデータを提出してください。 ・ファイル名: [〇〇語専攻_氏名] ※写真データが複数になる場合は、1つのファイルにまとめて提出してください。 例) Word に1ページ1枚の要領で写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存する。
提出 期間	2025年9月18日(木)～9月25日(木) ※上記期間以外は受理できません。 ※提出されたプレゼンテーション資料は、印刷して試験当日の試験官用資料として使用します。
提出 方法	本学Webサイト内に開設する専用フォームから提出するファイルを送信してください。 詳細は26ページをご覧ください。

5 学科・専攻別 選考方法等詳細

[外国語学部] イベロアメリカ言語学科 スペイン語専攻

選考方法

- 書類審査
 - 英語テスト(約45分) *マークシート方式
 - ・英文法(15分)
 - ・英語リスニング(約30分)
 - 日本語プレゼンテーション(約25分)
 - ・日本語プレゼンテーション(7分以上10分以内)
 - ・日本語による質疑応答・面接(約15分)
- *プレゼンテーションは定められた時間内に終わってください。
係員が残り時間(3分 1分 終了)を提示します。
*日本語プレゼンテーションの実施時間にプレゼンテーション開始までの準備時間は含めません。
*日本語プレゼンテーション(質疑応答・面接を含む)は、公正な審査を目的として録画・録音をおこなうことがあります。記録した動画・音声は、可否判定後に消去します。

プレゼンテーション テーマ

本学で何を学び、スペインやラテンアメリカ諸国と将来どのように関わっていきたいのか、スペイン語やスペイン語圏の文化・芸術、歴史・社会、ビジネスなど、あなたが興味をもっている事柄と合わせ、文献および書籍ならびに出所の確かなインターネット情報を明示しながらプレゼンテーションをこなさい。

プレゼンテーション 時間

7分以上10分以内

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えて いるか
説得力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか

プレゼンテーション
資料の形態

AかBを選択し、資料のデータは指定期間内に提出し試験当日は持参してください。

プレゼンテーションで 使用する資料の形態	使用可能環境等
A PowerPoint等の プレゼンテーション ソフトで作成した 資料	・「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。 ※プレゼンテーションには本学の機器を使用します。 ※「.ppt」ファイルと「.pptx」ファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2021を使用します。 ・スライドの枚数に指定はありません。 ※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。 ・試験当日は、ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 ※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックがあります。 ※USBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。
B スケッチブックや フリップ等を用いた 資料	・枚数やサイズに指定はありません。 ※受験者本人が持ち運び、取り扱い可能なものに限りします。

*対面でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。

プレゼンテーション
資料の提出方法

以下の要領で、指定期間内にプレゼンテーション資料を提出してください。

提出 資料	*AかBいずれかを提出 A プレゼンテーションソフトで作成した資料 ・PDF形式(.pdf)にして提出してください。 ・ファイル名:[スペイン語専攻__氏名] B スケッチブックやフリップ等を用いた資料 ・写真に撮ってデータを提出してください。 ・ファイル名:[スペイン語専攻__氏名] ※写真データが複数になる場合は、1つのファイルにまとめて提出してください。 例) Word に1ページ1枚の要領で写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存する。
提出 期間	2025年9月18日(木)～9月25日(木) ※上記期間以外は受理できません。 ※提出されたプレゼンテーション資料は、印刷して試験当日の試験官用資料として使用します。
提出 方法	本学Webサイト内に開設する専用フォームから提出するファイルを送信してください。 詳細は26ページをご覧ください。

5 学科・専攻別 選考方法等詳細

[外国語学部] イベロアメリカ言語学科 ブラジル・ポルトガル語専攻

選考方法

- 書類審査
 - 英語テスト(約45分) *マークシート方式
 - ・英文法(15分)
 - ・英語リスニング(約30分)
 - 日本語プレゼンテーション(約25分)
 - ・日本語プレゼンテーション(7分以上10分以内)
 - ・日本語による質疑応答・面接(約15分)
- *プレゼンテーションは定められた時間内に終わってください。
係員が残り時間(3分 1分 終了)を提示します。
*日本語プレゼンテーションの実施時間にプレゼンテーション開始までの準備時間は含めません。
*日本語プレゼンテーション(質疑応答・面接を含む)は、公正な審査を目的として録画・録音をおこなうことがあります。記録した動画・音声は、可否判定後に消去します。

プレゼンテーション テーマ

ポルトガル語圏は、ヨーロッパ、南米、アジア、アフリカに広がっています。なかでもブラジルは、国土の大きさでは世界第5位、人口の多さでも世界第7位で、日本とも深い交流の歴史を持つ親日国です。ポルトガル語圏の特徴を知るために用意された以下の3つの題目のうち、1つを選んでプレゼンテーションを下さい。

- ① あなたが将来、ブラジルに関係したビジネスをしたら、どのようなことをしますか。ブラジル社会の特徴をいかしたユニークなビジネスの可能性を考えてください。ブラジル国内向けでも、ブラジルから国際市場を目指したものでもかまいません。たとえば、日本では当たり前となっているビジネスで、ブラジルに活かせるもの、ブラジルの持っている資源や産業で、日本やその他の国や地域に活かせるものなど、あなたが考えることを発表してください。ビジネスの知識よりも、ブラジルの特徴をつかんでいるかが大切です。
- ② ポルトガル語圏の国際関係史の中で、あなたが一番興味をもっているのはどのような点ですか。国際社会におけるポルトガル語圏の特徴を述べてください。特定の歴史的トピックでも、時代の流れに焦点を当ててもかまいません。対象とする時代は問わないものとします。
- ③ ブラジルは大統領制を敷いています。ブラジル大統領選の候補者になったつもりで、選挙公約を考えてください。政治志向そのものよりも、ブラジル社会の特徴や抱えている課題をつかんでいるか、あなた自身のリーダーシップを伝えられるかどうか大切です。

少し難解に感じるかもしれませんが、ブラジル・ポルトガル語専攻では、テーマについて調べることが、新たな気づきや知識を得る機会になると考えています。様々な情報の中からどのような点に着眼するか、あなた自身がどう考えるかが大切です。あなた自身が調べたことをきっかけに、将来、ポルトガル語圏とどのように関わっていきたいかをアピールしてください。

プレゼンテーション 時間

7分以上10分以内

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか
説得力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができていますか

プレゼンテーション
資料の形態

AかBを選択し、資料のデータは指定期間内に提出し試験当日は持参してください。

プレゼンテーションで 使用する資料の形態	使用可能環境等
A PowerPoint等の プレゼンテーション ソフトで作成した 資料	・「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。 ※プレゼンテーションには本学の機器を使用します。 ※「.ppt」ファイルと「.pptx」ファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2021を使用します。 ・スライドの枚数に指定はありません。 ※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。 ・試験当日は、ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 ※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックがあります。 ※USBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。
B スケッチブックや フリップ等を用いた 資料	・枚数やサイズに指定はありません。 ※受験者本人が持ち運び、取り扱い可能なものに限りします。

*対面でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。

プレゼンテーション
資料の提出方法

以下の要領で、指定期間内にプレゼンテーション資料を提出してください。

提出 資料	*AかBいずれかを提出 A プレゼンテーションソフトで作成した資料 ・PDF形式(.pdf)にして提出してください。 ・ファイル名:[ブラジル・ポルトガル語専攻__氏名] B スケッチブックやフリップ等を用いた資料 ・写真に撮ってデータを提出してください。 ・ファイル名:[ブラジル・ポルトガル語専攻__氏名] ※写真データが複数になる場合は、1つのファイルにまとめて提出してください。 例) Wordに1ページ1枚の要領で写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存する。
提出 期間	2025年9月18日(木)～9月25日(木) ※上記期間以外は受理できません。 ※提出されたプレゼンテーション資料は、印刷して試験当日の試験官用資料として使用します。
提出 方法	本学Webサイト内に開設する専用フォームから提出するファイルを送信してください。 詳細は26ページをご覧ください。

5 学科・専攻別 選考方法等詳細

[外国語学部] 国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻 国際ビジネスキャリア専攻

選考方法

- 書類審査
- 英語動画審査
 - ・英語動画(2分30秒以上3分30秒以内)を事前に提出
- 日本語による質疑応答・面接(約12分)

*質疑応答・面接は、公正な審査を目的として録画・録音をおこなうことがあります。記録した動画・音声は、合否判定後に消去します。

英語動画テーマ

あなたの高校に外国から留学生が来ることになりました(留学生の名前と出身国は自分で設定してください)。
その人に向けて、高校周辺の生活に役立つ情報(公共交通機関、商業施設、レクリエーション施設など)を紹介する動画を作ってください。

※ 実際に自分が通う高校の周辺情報では作りにくい場合は、別の場所にある高校を想定して作っても構いません。

動画の長さ

2分30秒以上3分30秒以内

※ 自分の顔が映った状態で、英語を話している映像を1分30秒以上入れること

評価のポイント

1. 内容の有益性	留学生が生活するうえで有益な内容になっているか
2. 英語の表現力	発音が明瞭か、文法・語彙が正確か、外国人が聞いて理解しやすいか
3. 視聴者への配慮・分かりやすさ	留学生を意識した内容になっているか、留学生にとってわかりやすいか
4. 動画の構成と映像・音声の明瞭性	動画の構成は論理的か、映像と音声は明瞭か

*オリジナリティやユーモアがあれば尚可

英語動画の形態

- ・「mp4」または「mov」の動画ファイル形式で作成してください。
- ・動画ファイルのサイズは5GB以内とします。
※サイズを超過した場合、提出時にクラウドストレージサービスへのアップロードができない可能性があります。
- ・使用機材は問いません。スマートフォン等での撮影も可能です。
- ・「横動画」を推奨します。
※審査のために再生する際、「縦動画」は縦横比が崩れる可能性があります。
- ・動画ファイル名は[国際コミュニケーション__氏名][国際ビジネスキャリア__氏名]としてください。

5 学科・専攻別 選考方法等詳細
 [外国語学部] 国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻
 国際ビジネスキャリア専攻

英語動画の
提出方法

以下の要領で、指定期間内に英語動画を提出してください。

提出 資料	英語動画 ・ファイル名:[国際コミュニケーション__氏名] [国際ビジネスキャリア__氏名]
提出 期間	2025年9月18日(木)～9月25日(木) ※上記期間以外は受理できません。 ※提出された動画により試験官は事前審査をおこない、試験当日の質疑応答・面接を実施します。
提出 方法	本学Webサイト内に開設する専用フォームから提出するファイルを送信してください。 詳細は26ページをご覧ください。

5 学科・専攻別 選考方法等詳細

[グローバル・リベラルアーツ学部] グローバル・リベラルアーツ学科

選考方法

- 書類審査
- 日本語プレゼンテーション(10分以内)
 - *実施後、自身のプレゼンテーションについて振り返りをし、リフレクションシートに記入します。
- 日本語による質疑応答・面接(約15分)

[プレゼンテーションから質疑応答・面接までの流れ]

日本語プレゼンテーション ⇒ リフレクションシート記入 ⇒ 質疑応答・面接

- *プレゼンテーションは定められた時間内に終わってください。
プレゼンテーションの残り時間の提示はしません。受験者自身で時間管理をしてください。その際に、タイマー機能等の使用は可能です。
- *日本語プレゼンテーションの実施時間にプレゼンテーション開始までの準備時間は含めません。
- *日本語プレゼンテーション、質疑応答・面接は、公正な審査を目的として録画・録音をおこなうことがあります。記録した動画・音声は、合否判定後に消去します。
- *「リフレクションシート記入」はGoogleフォームを使用します。指定のフォームを開き、指示された時間内に入力して送信してください。

プレゼンテーション テーマ

指示に従い、日本語プレゼンテーションを準備してください。

あなたが探究したいテーマを提示し、その理由を説明してください。さらに、入学後どのようにその探究を進めていきたいかを、グローバル・リベラルアーツ学部での学びと関係づけながら説明してください。その際に、下記の2点を含めてください。

- ① これまでに学んだ知識や新たに調べたことに基づいて、探究したいテーマの背景を説明してください。
- ② そのテーマの探究のためにグローバル・リベラルアーツ学部で学ぶ必要があるとあなたが考える科目(語学科目は除く)または学問を2つ以上あげて、テーマとそれらの学びがどのように関係するのかを説明してください。

プレゼンテーション 時間

10分以内

評価のポイント

プレゼンテーション	本課題が求めている内容を含んだプレゼンテーションになっているか
	・ 探究したいテーマを提示できているか
	・ テーマ設定の理由を説明できているか
リフレクション	適切な知識に基づいてテーマの背景を説明できているか
	・ 探究の内容をグローバル・リベラルアーツ学部の学びと関係づけながら説明できているか
	・ テーマに対する探究への意欲が示されているか
質疑応答・面接	聴く側に伝えようとするプレゼンテーションになっているか
	指定された形式(時間・方法)に沿ったプレゼンテーションになっているか
	自身のプレゼンテーションのポイントを自己理解できているか
	自身のプレゼンテーションを適切に評価できているか
	グローバル・リベラルアーツ学部における学びの特徴を適切に理解できているか
	グローバル・リベラルアーツ学部における留学の意味と位置づけを適切に理解できているか
	留学に関する意欲及び期待を表明できているか
	自立的な学修の意味と生涯にわたって学び続けることの意義を説明できているか
	自身のことを理解してもらおうという意欲・態度が表出できているか

プレゼンテーション
資料の形態

AかBを選択し、資料のデータは指定期間内に提出し試験当日は持参してください。

プレゼンテーションで 使用する資料の形態	使用可能環境等
A PowerPoint等の プレゼンテーション ソフトで作成した 資料	・「.ppt」「.pptx」「.pdf」いずれかのファイル形式で作成してください。 ※プレゼンテーションには本学の機器を使用します。 ※「.ppt」ファイルと「.pptx」ファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2021を使用します。 ・スライドの枚数に指定はありません。 ※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。 ・試験当日は、ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 ※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックがあります。 ※USBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。
B スケッチブックや フリップ等を用いた 資料	・枚数やサイズに指定はありません。 ※受験者本人が持ち運び、取り扱い可能なものに限りします。

*対面でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。

プレゼンテーション
資料の提出方法

以下の要領で、(1)プレゼンテーション資料および(2)参考資料リストを提出してください。

提出資料	(1)プレゼンテーション資料 使用予定の資料形態に基づき、提出してください。 A プレゼンテーションソフトで作成した資料 ・PDF形式(.pdf)にして提出してください。 ・ファイル名:[GLA学部__氏名] B スケッチブックやフリップ等を用いた資料 ・写真に撮ってデータを提出してください。 ・ファイル名:[GLA学部__氏名] ※写真データが複数になる場合は、1つのファイルにまとめて提出してください。 例) Wordに1ページ1枚の要領で写真データを貼り付け、PDF形式(.pdf)で保存する。 (2)参考資料リスト 本学Webサイトに入力用ファイル(Word)を用意します。ダウンロードして、プレゼンテーションを準備するにあたって参考にした資料を記入し、提出してください。 ファイル名:[GLA学部__氏名]
提出期間	2025年9月18日(木)～9月25日(木) ※上記期間以外は受理できません。 ※提出されたプレゼンテーション資料および参考資料リストは、印刷して試験当日の試験官用資料として使用します。
提出方法	本学Webサイト内に開設する専用フォームから提出するファイルを送信してください。 詳細は26ページをご覧ください。
参考資料 リストの 記入例	[単行本] 雨野武、『大学教育再考』。千代田堂、2002年。 [新聞記事] 「国会で与野党の対立つづく」。毎朝新聞。2009年4月1日(夕刊)、1頁。 [インターネット上の資料] 神田外語大学。「動画でみるグローバル・リベラルアーツ学部」。神田外語大学公式Webサイト。 https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/faculties/gla/movies/, (参照 2022年6月1日)。 ※書き方の形式は一つではないので、他の資料を参考に別の記入形式を採用しても問題ありません。

6 出願書類

外国語学部	英米語学科	①～⑦のすべてを出願期間内に提出してください。
	アジア言語学科	⑧は任意提出書類です。
	イペロアメリカ言語学科	⑨は出願後、所定の期日までに提出してください。 ※⑩⑪は不要
	国際コミュニケーション学科	①～④、⑥～⑧のすべてを出願期間内に提出してください。 ⑩は出願後、所定の期日までに提出してください。 ※⑤⑨⑪は不要
グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科		①～④、⑥～⑧のすべてを出願期間内に提出してください。 ⑨⑪は出願後、所定の期日までに提出してください。 ※⑤⑩は不要

本学所定書式に関する注意事項

- 1)「本学所定書式」とある用紙は、本学Webサイトよりダウンロードし、A4サイズの用紙に片面印刷してください。
- 2)「本人自筆で記入してください」とある書類は、黒のボールペンで受験者本人の自筆で記入してください。鉛筆や消すことができるペンは使用しないでください。修正をする時は、修正ペンや修正テープを使用してください。鉛筆や消すことができるペンで書かれた場合は、受理できません。再提出が必要となります。
- 3)「Word(入力用)」の用紙を使用する場合は、本学Webサイトよりダウンロードし、受験者が入力したものを印刷して提出してください。
- 4)ホチキス留めは不要です。

① 総合型選抜(10月選考) 入学志願書(本学所定書式)

本人自筆で記入してください。

※高校コード欄は、本学Webサイトに掲載の「高等学校等コード表」(印刷不要)を参照して記入してください。

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/nyushi/sogo/oct/>

② 総合型選抜(10月選考) 写真票(本学所定書式)

本人自筆で記入してください。

③ 写真2枚

①入学志願書と②写真票に1枚ずつ貼付するための同一の写真を準備し、指定の場所に貼ってください。試験時間中に眼鏡をかける可能性がある場合は、必ず眼鏡をかけて撮影してください。

- ・縦4cm×横3cm、枠なしのカラー写真(スピード写真可)
- ・上半身、無帽、正面、背景なし
- ・出願日より3カ月以内に撮影したもの
- ・写真裏面に志望学科・専攻・氏名を記入(写真がシールタイプの場合は、縦4cm×横3cmの白紙に貼付してから裏面に記入)

④ 志望理由書(本学所定書式) *学科により異なります。

外国語学部	英米語学科	日本語：1,200字以内(用紙3枚)	本人自筆で記入してください。
	アジア言語学科 イペロアメリカ言語学科	日本語：800字以内(用紙2枚)	
	国際コミュニケーション学科	日本語：800字以内	[Word(入力用)]をダウンロードし、入力してから印刷してください。
グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科		和文／英文いずれでも可 文字数、枚数不問	2種類のファイルのいずれかをダウンロードして使用してください。 [Word(入力用)] 直接入力して使用する書式です。 [PDF(自筆/貼付用)] 本人自筆で記入してください。 自筆でない場合は、ワープロソフト等で作成した文章を本学所定様式に貼付してください。

⑤ プレゼンテーション概要(本学所定書式)

提出対象: 英米語学科、アジア言語学科、イペロアメリカ言語学科

外国語学部	英米語学科	所定書式 Word(入力用)に以下の事項を入力して印刷してください。 <u>テーマは2つありますので、両方のテーマそれぞれについて作成してください。</u> <u>テーマをひとつだけ選択することはできません。</u> ・ 1テーマにつき2ページ以内 ・ 記入事項： 「氏名」「氏名(英字表記)」 「プレゼンテーションテーマ」 出題されているテーマと同一にすること 「概要」 英文で100～150words(文末に概要の語数を記載) 「参考文献」 1テーマにつき文献3点以上 ・ 書き方例を本学Webサイトに掲載します。作成時の参考にしてください。
	アジア言語学科 イペロアメリカ言語学科	本人自筆で記入してください。i, ii, iiiすべてを提出する必要があります。 プレゼンテーションのテーマが複数ある場合は、テーマを1つ選択して作成してください。選択したテーマを出願後に変更することはできません。 - i 表紙 - ii プレゼンテーション概要：日本語で1,200字以内 ※当日発表するプレゼンテーションの構想を記入してください。 - iii 参考文献リスト：記入例は33ページを参照してください。 ※参考文献リストのみワープロソフトで作成することも可能。

⑥ 調査書等

卒業見込者および修了見込者は出願日より3カ月以内に発行されたもの、既卒者は卒業後に発行されたものを提出してください。卒業見込者は出願時点で最新の成績が記載された調査書を提出してください。

A	・ 高等学校・中等教育学校の卒業(見込)者 ・ 特別支援学校高等部の修了(見込)者 ・ 高等専門学校第3学年の修了(見込)者 ・ 文部科学大臣が認定または指定した在外教育施設の修了(見込)者	➡	・ 出身学校の調査書(開封無効)
	※海外留学により単位認定を受けた場合は、認定単位数を調査書に明記し、留学先の学校が発行する「成績や在籍に関する証明書」を必ず調査書に添付してください。証明書がコピーの場合には、高等学校長印で原本と相違ないことの証明を受けてください。 ※高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)により単位認定を受けた場合は、当該科目の「科目合格証明書」を併せて提出してください。 ※卒業後5年以上経過し、調査書が発行できない場合は、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。		
B	・ 外国の学校等の修了(見込)者 ・ 専修学校高等課程の修了(見込)者	➡	・ 修了(見込)証明書 ・ 成績証明書
	「修了(見込)証明書」と「成績証明書」を両方提出してください。なお、日本の高等学校に在籍した場合は、その高等学校の「調査書」も提出してください。 提出書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身学校や大使館・総領事館で証明を受けて添付してください。		
C	・ 高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者(大学入学資格検定を含む)	➡	・ 合格(見込)成績証明書(開封無効)
	高等学校で単位を修得した場合は、「単位・成績修得の証明書」(履修した高等学校等で発行する証明書で、科目ごとの修得単位数と成績が記載されたもの)を併せて提出してください。		

[注意事項]

- 1) 入学志願書の氏名が調査書や英語資格証明書等の氏名表記と異なる場合は、提出書類が本人のものであることを証明する書類(住民票の写しのコピー等)を提出してください。
ただし、戸籍上の氏名が旧字体で、調査書上の氏名が常用漢字の場合、提出する必要はありません。
(例)澤⇒沢
- 2) 外国籍の方が通称名を使用する場合や氏名を省略した場合は、以下のいずれかを提出してください。
 - ・ 通称名が記載されている住民票の写し(コピー可)
 - ・ 調査書を発行する高等学校等で、同一人物であることを証明する書類(書式不問、調査書の備考欄に記入していただく方法でも構いません)

⑦ 入学検定料振込金受領書のコピー

入学検定料を振り込んだ後、振込金受領書をA4サイズ用の紙に白黒でコピーして提出してください。振込金受領書の原本は必ず受験者が保管してください。

⑧ 語学検定試験の合格証明書 *学科により異なります。

合格証明書やスコア証明書はオフィシャルスコアに限り、原本のコピー(カラー・白黒は問いません)でも可としますが、A4サイズ用の紙に記載内容が切れたり不鮮明にならないようにコピーしてください。

以下の【表1】で提出必須としている学科・専攻を確認し、【表2】の注意事項を守ってコピーを作成してください。なお、アジア言語学科、イベロアメリカ言語学科の場合、語学検定試験は英語に限定しません。

【表1】

学部・学科・専攻	提出について
外国語学部 国際コミュニケーション学科 グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科	<u>提出は必須です。</u> 出願基準を満たしている証明書を提出してください。
外国語学部 英米語学科 アジア言語学科 (インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻) イベロアメリカ言語学科(スペイン語専攻)	提出は任意です。 内容に応じて <u>加点対象</u> とします。
外国語学部 アジア言語学科(中国語専攻、韓国語専攻) イベロアメリカ言語学科(ブラジル・ポルトガル語専攻)	提出は任意です。 <u>書類審査の参考</u> とします。

【表2】

資格名称	証明書の種類(コピー可)	注意事項
ケンブリッジ英語検定	・Confirmation of Entry(受験票) ・合格証明書	Confirmation of Entry(受験票)と合格証明書の両方を提出してください。
実用英語技能検定	合格証明書または 英検CSEスコア証明書 ※Certification Card、合格証書、 個人成績表は不可	・合格証明書は和文もしくは英文どちらかを提出してください。 ・英検デジタル証明書を使用する場合は、本学Webサイトに掲載の「デジタル証明書の提出方法」を確認してください。
GTEC(4技能)	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE ※SCORE REPORTは不可	・検定受験の「OFFICIAL SCORE」に限ります。
IELTS™ (Academic Module)	Test Report Form	・Test Report Form はテストセンターから直接本学に送付されるように手配することも可能です。
TEAP(4技能) TEAP CBT	TEAP成績表	・4技能パターン(400点満点)に限ります。 ・同一受験日のスコア合計のみ有効です。
TOEFL iBT®	Test Taker Score Report	・同一受験日のスコア合計のみ有効です。 ・My Best®スコアは利用できません。 ・Official Score Reports を米国ETSから直接本学に送付されるように手配することも可能です。 ・手続時に使用する本学の Institution Code Number は「4882」です。
・ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定以外の資格取得有効期限は、出願締切日から遡って原則2年以内です。 ・複数のスコア証明書からスコアを合算して利用することはできません。 ・IELTS™、TOEFL iBT®の証明書をテスト期間から直接本学に送付する場合は、出願締切日までに証明書が本学に到着するように手配してください。		

プレゼンテーション資料・英語動画・参考資料リストの提出

⑨～⑪ 提出期間:2025年9月18日(木)～9月25日(木) ※指定期間以外は受理できません。

9月18日(木)より提出フォームへのリンクを本学Webサイトの総合型選抜(10月選考)ページに掲載します。
指定する学部ごとの提出フォームにアクセスし、必要事項を入力の上えファイルを選択して送信してください。

[本学Webサイト] <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/nyushi/>



外国語学部 英米語学科 アジア言語学科 イペロアメリカ言語学科	⑨プレゼンテーション資料: ※英米語学科は1つのテーマで1つのファイルを作成、2つのファイルを送信してください。
外国語学部 国際コミュニケーション学科	⑩英語動画: 国際コミュニケーション学科のみ
グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科	グローバル・リベラルアーツ学科は⑨と⑩の両方を送信してください。 ⑨プレゼンテーション資料 ⑪参考資料リスト ※参考資料リストはWebサイトに用意します。ダウンロードしてプレゼンテーションを準備するにあたって参考にした資料を記入してください。

プレゼンテーション資料・英語動画・参考資料リスト 提出方法・注意事項

- 提出された資料により試験官は事前審査をおこない、試験当日の質疑応答・面接を実施します。
- 資料は指定の提出フォームから一度しか送信できません。
- 送信前に以下の項目を確認してください。
 - ・本学の指定する形式で提出資料を作成していること
 - ・本学の指定する形式でファイル名をつけていること
 - ・受験する学科が指定するファイルすべてがそろっていること
 - ・受験する学科・専攻の提出フォームを開いていること
- 送信が問題なく完了した場合は「ファイルをアップロードしました」という送信完了画面が表示されます。
- ファイルサイズが大きい場合、アップロードが完了するまで時間がかかることがあります。また、指定のファイルサイズを超過している場合は、操作を完了できない可能性があります。
- スマートフォンを使用してファイルを送信する場合、各自の通信契約内容によっては本学の指定するファイルサイズ(5GB以内)であってもサイズ超過により送信操作を完了できないことがあります。送信完了画面が表示されずにアップロード画面に戻った場合は、パソコン等、別の機器を使用してください。
- アップロード操作に問題が発生した場合は、速やかに本学アドミッション&コミュニケーション部までご連絡ください。

7 入学検定料

入学検定料：35,000円

入学検定料振込受付期間：2025年8月18日(月)～9月11日(木)

- 振込依頼書(本学所定書式)を本学Webサイトよりダウンロードし、A4サイズの白紙に印刷してください。印刷は、カラー・モノクロのどちらでも問題ありません。
- 振込依頼書に必要事項をボールペンで記入し、金融機関(ゆうちょ銀行を除く)窓口で電信扱いにて振り込んでください。振込み後は、金融機関の収納印が押印されていることを確認してください。
- ATM、インターネット銀行からの送金はしないでください。これらの手段で振込みした場合は、入金が確認できない場合があります。

※いったん納められた入学検定料は、原則返還いたしません。ただし、返還事由に相当する場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部に連絡後に指定する方法で返還申請をしてください。

8 出願方法

出願期間：2025年9月4日(木)～9月11日(木)(締切日消印有効)

- 出願書類提出用封筒ラベル(総合型選抜(10月選考)用／本学所定書式)を本学Webサイトよりダウンロードし、A4サイズ of 用紙に印刷してください。
- 出願書類すべてを各自で用意した封筒(A4サイズが入る角形2号の封筒)に入れ、差出人欄および出願書類チェック欄を記入した封筒ラベルを封筒に貼ってください。
- 郵便局から簡易書留・速達郵便で送付してください。
- 各学科・専攻で定められている資料等(プレゼンテーション資料、英語動画、参考資料リスト)は、出願書類とは別に指定された期間内に提出する必要があります。「選考方法等詳細」を確認してください。

9 出願上の注意

- (1) 出願基準・条件(6ページに記載)を満たしていることを確認してください。
- (2) 出願書類は、出願期間内(締切日消印有効)に簡易書留・速達郵便で送付してください。本学の窓口での出願書類の受理はできません。また、締切日を過ぎた日付の消印が押された書類や書類の不足は受理できません。
- (3) 本選抜ではプレゼンテーション資料や英語動画等に対する提出期間を設けています。提出期間内にこれらを提出できない場合は、選考できなくなる可能性があります。
- (4) 出願書類に不足および不備がある場合は、受理できないことがあります。
- (5) 出願書類は、証明書等も含め、原則返却いたしません。
- (6) 出願書類に虚偽があった場合は、出願資格または合格を取り消します。
- (7) 出願後の志望学部・学科・専攻の変更はできません。
- (8) 受験上および修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願前に電話にて本学アドミッション&コミュニケーション部(043-273-2476)へお問い合わせください。

10 受験票の送付

2025年9月24日(水)に出願者本人宛に本学から速達郵便で発送します。

※9月29日(月)までに受験票が届かない場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。

※試験日前日までに受験票を紛失した場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部へご連絡ください。

11 受験上の注意

- (1) 本選抜はすべての選考を本学にて対面形式で実施します。
 - ・試験日は、8時15分に開門し、受付を開始します。受験票にある指定された集合時間までに試験教室へ入室してください(時間厳守)。受付開始前の入構はできません。
 - ・各試験教室への案内は、試験当日に掲示発表します。
 - ・遅刻者は受験を許可しません。
※英語リスニング開始後の入室はできません。公共交通機関の遅延等、正当な理由がある場合は、受付に申し出てください。
- (2) 受験当日に用意するもの
 - ・受験票：必ず手元に用意してください。
 - ・筆記用具：HBの黒鉛筆、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム
 - ・時計
 - ・プレゼンテーションに使用する資料
※プレゼンテーションソフトで作成した場合、資料データは必ずUSBメモリに保存して持参してください。プレゼンテーションは本学の機器を使用します。
 - ・昼食：同日の午前と午後両方に試験のある方は持参してください。
※当日、学生食堂は利用できません。
- (3) 受験票を紛失または持参し忘れた場合は、試験当日に受付で申し出てください。
- (4) 不正行為者には即時に受験の中止を命じ、全試験を無効とします。
- (5) 試験実施中に携帯電話、スマートフォン等を鳴らした場合、不合格となることがありますので注意してください。また、試験の待機時間中も電子機器(スマートフォン、タブレット端末等)は使用できません。
- (6) プレゼンテーション・質疑応答・面接の順番により各自の待機時間は異なります。
※最終プレゼンテーション・質疑応答・面接終了予定時間は18時00分頃。
- (7) 試験時間中および待機時間中は、試験官、係員の指示に従ってください。
- (8) 駐輪場・駐車場の用意はありません。必ず公共の交通機関を利用してください。
- (9) 受験者以外の方の本学への入構は認めません。
- (10) 地震災害、感染症その他の事情により、本学試験が所定の期日に実施できない場合、本学Webサイト等を通じて、変更情報をお知らせします。<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>
- (11) 試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、新型コロナウイルス等)に罹患し治癒していない場合は受験できません。発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関を受診してください。また、追試験・再試験等の措置、入学検定料の返還はおこないません。体調管理については十分に注意してください。
- (12) 英語テスト受験時や待機時間中のマスクの着用は、個人の判断とします。ただし、プレゼンテーションや質疑応答・面接試験中は、原則マスクを外してください。

12 合否結果通知の送付

- (1) 合否結果は、2025年11月1日(土)に本人宛に発送します。
11月4日(火)までに届かない場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。
※Webサイト上や学内掲示での発表はありません。
- (2) 合格者には、合格通知書に入学手続要項・入学手続書類等を同封して速達郵便で送付します。
- (3) 合否に関する問い合わせには一切応じられません。

13 入学手続

入学手続期間：2025年11月3日(月)～11月10日(月)（締切日消印有効）

入学手続は、初年度学費等の納入と、入学手続書類の提出によって完了します。合格通知書と共に送付する「入学手続要項」に従って手続きしてください。

合格者は、入学手続期間内に、初年度学費等納入金を本学所定の振込用紙を使用して、金融機関窓口(ゆうちょ銀行は除く)で振り込み、入学手続書類を送付してください。本学窓口での受付はしません。

- ・初年度学費等納入金の支払方法は、「全納」と「分納」の2つの方法があります(延納はできません)。
- ・いったん納入された初年度学費等納入金および入学手続書類は、原則返還いたしません。
- ・入学手続期間の延長は原則として認めません。期間内に手続が完了しない場合は、入学資格が取り消されます。

※「高等学校卒業見込み」の出願資格で受験した方は、2026年3月31日までに高等学校を卒業することができない場合、入学許可が取り消されます。「高等学校卒業」と同等の資格を取得見込みの場合も同様です。

【初年度学費等納入金】

種別	項目		全納	分納	
				1回目 (入学手続時)	2回目 (2026年9月末)
学費	入学金		200,000円	200,000円	—
	授業料	外国語学部	980,000円	490,000円	490,000円
		グローバル・リベラルアーツ学部	1,160,000円	580,000円	580,000円
諸会費等	教育 充実費	外国語学部	330,000円	165,000円	165,000円
		グローバル・リベラルアーツ学部	350,000円	175,000円	175,000円
	学友会費※1		5,000円	5,000円	—
	いしずる会費※2		10,000円	10,000円	—
合計	外国語学部		1,525,000円	870,000円	655,000円
	グローバル・リベラルアーツ学部		1,725,000円	970,000円	755,000円

※1 学友会費は、学友会(学生自治会)の運営費用であり、公認学生団体の活動補助金等にあてられます。

※2 いしずる会費は、「神田外語いしずる会」(同窓会組織)正会員となるための終身会費です。

2年次以降の教育充実費は、外国語学部は毎年 410,000円、グローバル・リベラルアーツ学部は毎年 430,000円となります。

2年次以降の年間納入額は、外国語学部は毎年1,405,000円、グローバル・リベラルアーツ学部は2・4年次1,605,000円、

3年次 1,075,000円です(3年次の留学費用は別途かかります)。

また、グローバル・リベラルアーツ学部には独自の奨学金制度があります。

入学金返還制度 ～神田外語いしずる会 本人・子弟入学金返還制度～

両親・兄弟姉妹のいずれかが、本学または姉妹校・神田外語学院を卒業あるいは在籍している場合、「神田外語いしずる会」の入学金返還制度を利用することができます。本制度については入学後のガイダンスで案内します。

海外スタディ・ツアー費用支援制度

グローバル・リベラルアーツ学部での学びにおいて、極めて重要な位置づけである「海外スタディ・ツアー」(1年次前期実施)の留学費用(渡航費・現地授業料等の基本的な費用)を本学が負担します。

高等教育の修学支援新制度

本学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象機関です。同制度採用者には、入学後に減免相当額を還付いたします。入学手続時には、本制度利用の有無にかかわらず、初年度学費等納入金を一度納入していただく必要があります。

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

[参考(教育ローン)]

「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

融資限度額:学生1人につき350万円まで *一定の要件に該当する場合は上限450万円まで
融資には審査が必要です。ご利用の際は時間に余裕をもって出願前にお申込みください。

〔お問い合わせ〕 0570-008656(ナビダイヤル) <https://www.jfc.go.jp>

「オリコ学費サポートプラン」(オリエントコーポレーション) ~大学・専門学校などと提携した教育ローン~

*入学手続のために利用する場合、入試区分により利用申請期間が設定されていますので、ご注意ください。

入学金や授業料などの学納金を、簡単な申し込み手続きで利用できる学費立替払い制度です。

Webもしくは郵送で申し込むことができます。

<https://orico-web.jp/gakuhi/index.html>

「ジャックスの教育ローン」(JACCS) ~大学・専門学校などと提携した教育ローン~

入学金や授業料などの学納金を、簡単な申し込み手続きで利用できる学費立替払い制度です。

<https://www.jaccs.co.jp/service/credit/education/yuyu/>

14 入学前教育(必須受講)

総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜の入学予定者には、「入学前教育」をオンデマンドにて必ず受講していただきます。計画的に取り組んでください。

「入学前教育」のすべてのコンテンツへの取り組みを期日までに完了しない場合、入学が取り消される可能性があります。

なお、大学生活をより有意義なものにするために、入学予定者を対象とした「入学前交流会」を本学キャンパスにて、1日開催します。入学前教育、および入学前交流会の詳細は、入学手続き完了後に通知します。

15 入学検定料の返還について

次の事由1～3のいずれかに該当し、返還申請が受理された場合は、入学検定料を返還します。

【入学検定料返還申請事由】

1. 入学検定料を納入したが、必要書類未提出のため出願が完了しなかった。
※プレゼンテーション資料等、出願受付後に提出が必要となるものが未提出の場合は、この条件にあたりません。
2. 入学検定料を納入し、必要書類を提出したが、出願が受理されなかった。
3. 入学検定料を納入し、必要書類を提出したが、誤って二重または過剰に納入した。

【申請方法】

本学アドミッション&コミュニケーション部へ電話にて連絡後、「入学検定料返還申請書」(本学所定書式／本学Webサイトに掲載)をA4サイズ用紙に印刷し、必要事項を記入のうえ、指定された書類を「簡易書留」扱いで期日までに郵送してください。

【申請受付期限】

2026年3月2日(月)締切日消印有効

【返金方法および返金時期】

申請者の出願状況や入学検定料納入の有無等について改めて確認した後、順次返金作業をおこないます。

入学検定料の返還には、返還申請受理後、1カ月程度かかります。

また、返金は「入学検定料返還申請書」に記入された口座への振込をもって完了といたします。

申請書の不備および不受理連絡以外の連絡はいたしません。

16 ノートパソコンの必携について

本学では、授業をはじめとした日々の学習活動を効果的におこなうために、個人所有のノートパソコンを使用します。推奨スペック等の情報は、合格者に送付する「入学手続要項」等でお知らせします。入学までに推奨スペック等の仕様を満たすノートパソコンを用意する必要があります。

17 入学試験 Q&A

項目	よくある質問	回答	ページ
出願	出願書類が出願期間内にすべて揃いません。足りない書類はあとから送ってもよいですか。	必ずすべての書類を揃えてから出願してください。出願期間を過ぎて届いた書類や、書類不足の場合は受理できません。	27
	出願書類を持参したら受取ってもらえますか。	本学の窓口では受理できません。出願書類は必ず出願期間内に簡易書留・速達郵便で送付してください。	27
	出願書類を送ったあとに、志望学部を変えることはできますか。	出願後の志望学部・学科・専攻の変更はできません。また、プレゼンテーションテーマの変更も認められません。	27
	出願期間後に検定試験に合格しました。合格証書のコピーを持参してもよいですか。	出願期間を過ぎて届いた場合や試験当日に持参した場合は受理できません。	27
	志望理由書を規定の文字数以上書いてもよいですか。	規定の文字数におさめてください。 ・英米語学科：1,200字以内 ・アジア言語学科、イベロアメリカ言語学科、国際コミュニケーション学科：800字以内 ・グローバル・リベラルアーツ学科：字数制限なし	23
	インターネット銀行から入学検定料の振込みはできますか。	インターネット銀行からの振込みはできません。金融機関の窓口(ゆうちょ銀行は除く)から振り込んでください。	27
	英米語学科とイベロアメリカ言語学科の両方を受験できますか。	本選抜では学内併願はできません。	6
	学費の振込先が「サノガクエン」となっていますが、間違いではありませんか。	正しい振込先です。神田外語大学の正式名称は「学校法人佐野学園 神田外語大学」です。	27
受験票	受験票が届きません。	9月24日(水)に速達郵便で発送します。9月29日(月)になっても届かない場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。	28
	受験票を紛失してしまいました。	事前に連絡をいただいた場合には再発行します。試験当日に紛失が判明した場合は、本学係員に申し出てください。	28
試験	英語リスニングはどのような方法でおこなわれますか。	一斉放送で音声の流れします。音声は一度しか流れません。	—
	英米語学科を受験します。どちらのプレゼンテーションテーマになるのか、いつ教えてもらえますか。	試験当日に試験室で試験官から指示を受けます。どちらのテーマになっても十分に力を発揮できるよう、準備してください。	7
	英米語学科を受験します。両方のテーマの資料を提出するのですか。	2つのテーマ両方の資料を所定の期間内に提出してください。	8
	出願時に提出した参考文献リストに追記したいのですが、どのようにしたらよいですか。	資料の追加提出はできませんが、当日のプレゼンテーションの中で補足することは可能です。	—
	参考文献を多く挙げた方が高い評価になりますか。	一概には言えません。量が多くても質が伴わず、プレゼンテーションにいかされていないと判断される場合は、高い評価が得られません。	—
	プレゼンテーションに、動画や録音された音声資料の使用が禁止されているのはなぜですか。	受験者の皆さんのその場での表現を見せていただきたいからです。	7~18, 21~22
	プレゼンテーション資料に写真を使用してもよいですか。	使用可能です。他者の作品や製作物の場合は、出典を明示してご利用ください。	—
	プレゼンテーションソフトを使用した方が有利になりますか。	資料形態による有利不利はありません。自分が最も表現しやすいと思う形態を採用してください。※英米語学科はプレゼンテーションソフトの使用が指定されています。	—
	良い機材を使用して動画を作成した方が有利ですか。	使用機材は問いません。内容が重視されます。	19
	開始するまでの準備時間もプレゼンテーションの時間に含まれますか。	プレゼンテーション開始前の準備時間は、プレゼンテーションの時間に含めません。※ただし、準備に時間を要し、開始に支障のある場合は、試験官の指示に従ってください。	7~22
	プレゼンテーションは資料を見ながら実施してもよいですか。	資料や台本、メモを見ながらプレゼンテーションができます。ただし、スライド投影に使用する機器以外の電子機器(スマートフォン、タブレット等)の使用は認められません。	—
	プレゼンテーション試験の順番や終了時間を教えてください。	プレゼンテーション試験の順番や実施時間を事前にお伝えすることはできません。また、受験者が日時を指定することもできません。集合日時は受験票で通知しますが、実施の順番によって、待機時間が長くなる場合があります。各試験日の最終終了予定時間は18時00分頃です。	28
	入試の成績は教えてください。	入試成績の開示はしていません。	29

項目	よくある質問	回答	ページ
その他	何人出願しているか教えてもらえますか。	出願状況についてお答えすることはできません。	—
	昨年の倍率を教えてください。	入試ガイドや本学Webサイトに過去の入試結果を掲載していますので、ご覧ください。	—

18 参考文献リストの書き方 [外国語学部]

出願書類「プレゼンテーション概要」作成時の参考として、文献リストの記入例を記載します。書き方の形式は一つではないので、他の資料を参考に別の記入形式を採用しても問題ありません。

〔日本語文献の場合〕

単行本 著者名『書名』出版社名、発行年。
雨野武『大学教育再考』千代田堂、2002年。

翻訳書 原著者名(翻訳者名)『書名』出版社名、発行年。
ケイジ・ニコル(高橋久幸訳)『カレッジの起源』目黒出版社、1998年。
※原著者名は、ファミリーネーム・ファーストネームと表記する。

雑誌論文・雑誌記事 著者名「論文名・記事名」『雑誌名』巻号、発行年月、掲載頁。
源尊氏「サークル活動を通じたコミュニケーション能力形成の研究」『大学教育実践研究』第12巻第31号、2001年10月、93-112頁。

単行本に収められた論文 著者名「論文名」編者名『書名』出版社名、発行年、掲載頁。
竹内美和子「初年次教育における英語教育の位置づけ」、戸塚靖男編『新しい学士課程教育を構想する』台東出版、2003年、20-40頁。

新聞記事 署名がある場合は著者名「記事タイトル」『新聞名』掲載年月日(朝夕刊の別)、掲載頁。
「国会で与野党の対立つづく」『毎朝新聞』2009年4月1日(夕刊)、1頁。

インターネット上の資料 著者名「文書名」、サイト名、URL(閲覧日:年月日)
神田外語大学「大規模地震対応マニュアル」、神田外語大学公式ウェブサイト、
https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/kuis_news/data/4401/block/file_160427112004000000_01.pdf (閲覧日: 2023年6月1日)。

映像資料

テレビ放送の場合:「番組名」放送局名、放送日。
「神田外語大学を訪ねて」〇×テレビ、2016年10月23日放送。

DVDなどの場合:『タイトル』発売元、発売年。
『神田外語大学のすべて』〇×映画社、2016年。

〔外国語文献の場合〕

単行本の書名と雑誌名はイタリックにして、論文と区別する。
単行本(著者が一名) 著者名、書名、出版地:出版社名、発行年。
Anderson, Mary, *College Revolution*, Chicago: Rock College Press, 1981.
※著者名は、「ファミリーネーム、ファーストネーム」と表記する(以下同)。

単行本(著者が複数) 著者名 and 著者名、書名、出版地:出版社名、発行年。
Anderson, Mary and Takahashi, Hisayuki, *Universities in Japan*, Boston: US Books, 1999.

雑誌論文・雑誌記事 著者名、「論文名」、雑誌名、巻(号): ページ、発行年。
Anderson, Mary, "The New Patterns of How to Teach Academic Writing", *College Education Review*, 4(3): p.35-44, 2005

単行本に収められた論文 著者名、「論文名」、編者名 ed.、書名、出版地:出版社名、発行年。
Anderson, Mary, "The Changes in College Impact in the Past 15 Years", Jackson, Benedict ed., *College Education and New Students*, London: Redbrick Press, 2006.

※編者名も「ファミリーネーム、ファーストネーム」と表記する。編者が複数の場合は and でつなぎ、「ed.」を「eds.」に変える。

(『神田外語大学 基礎演習ガイドブック』より抜粋)

※グローバル・リベラルアーツ学部は22ページの参考資料リストの記入例を参考にしてください。

※英米語学科は、「プレゼンテーション概要」に参考資料リストを記入する必要があります。本学Webサイトに書き方例が掲載されていますので、参考にしてください。

個人情報の取扱いについて

「個人情報」とは、学校法人佐野学園神田外語大学(以下、「本学」といいます)へ受験の申し込みをした受験者及び保護者(以下「申込者」といいます)の情報であり、申込者を特定できる情報をいいます。また、個人情報の一部であっても、他の情報と容易に結びつけることが可能であり、これにより申込者を特定できる情報についても個人情報とします。

本学では、取得した申込者の個人情報を、入学試験、合否発表、入学手続・準備、入学後の管理運営、志願者分析、およびこれらに付随する業務運営等の目的で利用します。また本学の教育・サービス向上のための分析等の目的で利用します。

本学は、運用にあたり、個人情報に関連する法令等を厳守し、適法かつ公正に、取得、利用、提供、保管および廃棄をおこないます。また、上記利用目的の限りにおいて、必要な範囲内で本学グループ機関等に申込者の個人情報を提供する場合があります。また、業務の全部または一部の取扱いを外部業者等に委託する場合があります。その場合、漏えい等を防止するために契約により義務付ける等の方法により、適切な管理を実施します。

本学は、保有個人情報につき、申込者からの利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、および利用や第三者提供の停止または消去の求めに対応します。手続の詳細については、本学の「個人情報保護への取り組みについて」をご覧ください。

本学の個人情報保護への取り組みについて：

<https://www.kandagaigo.ac.jp/privacy/>

本学の個人情報利用に関する問合せ先：

〒101-8525 東京都千代田区内神田2-13-13

学校法人佐野学園「個人情報の保護に関する学内委員会」

www@kandagaigo.ac.jp

Memo

Languages are the foundation to link the world in peace.



KANDA UNIVERSITY OF INTERNATIONAL STUDIES

アドミッション&コミュニケーション部

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

TEL. 043-273-2476

月～金 9:30～17:00 *土日祝および夏期休業期間(8/4～8/17)は受け付けておりません。

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>